

—会 務 報 告 —

◎第2回満洲の特殊事情に依る工事資料編纂委員会

日 時 康徳9年4月13日午後5時(月曜)

場 所 满鐵新京支社會議室

出席者 風間委員長、貝島、辰村、照井(代山田)前田、河田、柴田、澤田、瀬戸、瀬尾、石田(代村尾)黒岩、各委員、山田主事、豊月書記

風間委員長より第1回協議會に於て秘扱項目氣象的並に溝地の特異性に關する軍當局の意向を聽取せる報告あり續て各委員擔當項目資料、調査に就て左記の通り報告ありたり

1. 河田委員、擔當項目土壤の種類に就て溝地、木材石材等の資料調査書提出の上詳細説明あり(件数約26件)尙砂、砂利等の資料調査方を追加依頼す。
2. 前田委員、擔當項目セメント、煉瓦、アスファルト、タル等の資料、調査報告あり(件数約8件)
3. 土建側委員(黒岩、辰村)兩氏に労働力工事資金の特異性に關する資料調査其他に就ては一切一任す
4. 貝島、石田(代村尾)擔當項目鐵道に就て調査書提出の上詳細説明あり(件数約60件)但し調査中より異難のこと。
5. 瀬戸委員、擔當項目道路に就て資料調査したる報告あり(件数約10件)
6. 照井委員(代山田)擔當項目河川に就て資料提出の上詳細説明あり(件数約4件)
7. 瀬尾委員、擔當項目水力に就て資料調査したる報告あり(件数約3件)
8. 澤田委員、擔當項目上下水道に就て資料調査したる報告あり(件数約5件)
9. 柴田委員、擔當項目拓地に就て資料調査報告あり(件数約3件)

以上各委員擔當に對する報告あり尚調査並に期日は下記の通りに決定す。

1. 調査様式(デアル式)(平假名)横書きとして1項目印

刷約3頁とす(原稿枚數は20枚を限度とし多少の増減を可とす)

2. 調査原稿材料持寄期日は5月末迄
其他種々協議の上19時30分散會す。

以上

◎第3回満洲の特殊事情に依る工事資料編纂委員会

日 時 康徳9年6月15日午後5時

場 所 满鐵新京支社第3會議室

出席者 風間委員長、貝島、前田、瀬戸、瀬尾、豊島、(代有賀)石田(代村尾)各委員、山田主事、豊月書記

協議事項

各委員より資料蒐集及執筆に關し夫々情況報告あり特に石田(代村尾)委員より詳細なる報告ありたる後執筆並に蒐集を完了せるもの(嫩江橋梁撫順の渦流猛烈に就て)其他17編の提出あり尙主事から黒岩委員より本日、前田、河田各委員よりも既に資料提出ありたる旨報告し風間委員長講事進行に當り種々協議したる結果下記事項を申合せ6時45分散會す。

1. 各委員の擔當項目中未提出分は7月15日頃迄に擔當委員に於て執筆並に蒐集を是非完了し土木學會に送付すること
2. 各委員とも擔當項目に關する(施行時期の特異性)を追加書添へること。
3. 労働力の特異性に就ては風間委員長擔當することとする。
4. 大會委員會迄に出版、圖書名(表題)を各委員に於て考究持寄ること
5. 著者の際執筆者名を末尾に入ること
6. 其他、調査、検査、出版、印刷、委員外筆者に対する謝禮問題等種々協議したるも尙研究することにせり

以上

◎土木學會々員數（康德9年6月15日現在）

特別會員、	正會員、	准會員、	學生會員、	副會員	計
43	598	691	138	1,282	2,752

准會員、村瀬信夫君の計報に接し本會は恭しく哀悼の意を表す。

協和會科學技術聯合部會建設研究部會關係記事

◎第3回建設研究部會委員及幹事會

日 時 康德9年6月5日午後4時30分

場 所 聯合部會本部會議室

出席者 布施忠司、横田道夫、今井秀雄、三浦潔、神谷
新一(代官地)臼井建三、佐藤九郎、桑原英治、
山田榮治郎、森徹、前田敏男、小川新一、藤島
哲三郎、笛木英雄、澤島英太郎、濱(土木學會
主事)懸月(同書記)

協議事項

- 佐藤幹事長より協議に先立ち會長並に副會長缺席の爲桑原委員を座長として議事進行した旨一同の賛成を求め尙、未提出調査研究項目に就き佐藤分擔幹事より中央調査会は提出すべき資料なき旨報告、今井幹事より哈爾濱工大に関する未提出理由を披瀝至急提出する旨諒解を求むる處もありたり。
- 桑原座長より席上配布せる在満研究所並に試験所に於ける調査研究項目一覽表に就き整理委員にプリント内容の説明を求め森幹事整理委員を代表是を説明すると同時に内客區分に就き一同の意向如何を正したる結果布施、山田、三浦、の各委員並に幹事より保溫材料、井水改良、湿地等を土木建築共通項目欄に押入したき希望あり其他多少調書を變更せり。森幹事よりプリント活用方針の希望意見として土木建築共通の調査研究項目は委員及幹事會に於て處理し専門に屬するものは土木建築各分科會に於て夫々處置すべきとする意見の開陳ありたるに對し一

同賛成是を決定す。尙配布研究項目一覽表中軍當局の調査研究項目に就き三浦幹事の諒解を得たる上森・幹事より一同に説明せり

桑原座長より前會合に於て決定したる如く今後の活動方法として先、整理プリント内容に基き土木建築共通調査研究項目中より適切なる項目を選擇是を主題に研究發表會乃至は討論會を開催したき件提案並に協議の結果下記の通り具體案を決定し關係方面に對し至急研究及調査擔當者出席方の招請狀を差出す事とし亦桑原座長より月例の本會々合出席者に就き勤務先事情に依りては旅費實費を本會に於て負擔するも支障なきを以て其の必要ある向は申出あり度き旨一同に報告6時50分散會せり。

記

集會名 第1回研究發表會

日 時 康德9年7月4日(土曜)午後1時30分

場 所 科、技、聯、本部

發表項目 凍害 土壌の凍害
一般構造材料の凍害
家屋凍害
凍害防止

附 今後連續的に研究發表會を開催することゝし項目は下記の順序に依ることを豫定せり

記

1 コンクリート…………塞中コンクリート

2 地盤 力學的性質
溫度分布
凍結現象

3 次回會合にて協議す

以上